

- 問1 室町時代に町衆が主体となって祭礼が運営された、京都にある神社を何という？
- 問2 堺などのような、海上輸送の拠点として栄え、商人が集まる町のことを一般的に何という？
- 問3 室町幕府の第3代将軍であり、京都の北山に金閣を建てた人物は誰？
- 問4 首里を都とする琉球王国が、東アジアと東南アジアの間に立って行った経済活動を何といますか？
- 問5 室町時代、琵琶湖の水運と連携し、大津や坂本などの港から京都へ物資を陸上輸送していた運送業者を何という？
- 問6 京都の東山に慈照寺銀閣を建て、書院造を代表する遺構を残した室町幕府の将軍は誰？
- 問7 浄土真宗の強い信仰で結びついた門徒たちが、室町時代に起こした武装蜂起のことを何という？
- 問8 勘合貿易において、正規の貿易船を証明するために、明側と日本側で半分ずつ持った札のことを何という？
- 問9 堺の町で、有力な商人たちが組織した合議制の運営組織のことを何という？
- 問10 応仁の乱の後、実力のある者が上の立場の者を倒して勢力を広げた、戦国時代の風潮を何という？
- 問11 室町時代に中継貿易で日本や東南アジアと活発にやり取りをしていた国はどこ？
- 問12 室町時代の定期市において、広く流通していた中国から輸入された銅銭を何という？
- 問13 祇園祭が室町時代に一時中断する原因となった、京都を主戦場とした大規模な内乱を何という？
- 問14 二条河原の落書など、中世の日本の文芸や歌で好まれた「七・五・七・五」を基調とするリズムを何といますか？
- 問15 東山文化を代表する建築物で、足利義政が京都に建てたものは何？
- 問16 室町時代の中期、京都の東山に山荘を建てて文化を奨励した第8代将軍は誰？
- 問17 室町時代に歌舞劇である能を芸術的に高め、大成させた、室町幕府の第3代将軍は誰か？
- 問18 室町幕府の第3代将軍で、明との間で勘合貿易を始めた人物は誰？
- 問19 観阿弥とともに能を大成させ、能楽の基礎を築いた人物は誰？
- 問20 室町幕府の体制において、将軍の補佐役を務め、地方統政を担う重要な機関でもあった役職を何という？
- 問21 室町時代、農民たちが借金の帳消しを求めて、高利貸などを襲撃した出来事を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 八坂神社	八坂神社で行われる祇園祭は、室町時代の京都において、有力な商工業者である「町衆」が中心となって運営されました。町衆は自分たちの住む街を守り、団結力を誇示するために豪華な山鉾を造り、祭りを盛り上げました。これは都市自治の象徴でもありました。
問2	答え 港町	港町は、船による海上輸送の拠点として、国内外の物資が荷揚げされる場です。堺は大阪湾の港町として、国内外との交易を通じて発展しました。そこには商人たちが店を構え、倉庫を建て、金融業も発達しました。
問3	答え 足利義満	義満は京都の北山に別荘として北山殿を造営し、その象徴として金閣を建てました。金閣は伝統的な公家文化と新興の武家文化を融合させた豪華な建物です。この建築様式は、義満の時代の文化を象徴するものとなりました。
問4	答え 中継貿易	琉球王国は、中国の明との進貢貿易を軸に、日本や朝鮮、さらには東南アジア各地の産物を互いに取り寄せて売りさばく中継貿易を行いました。これにより莫大な富を得て繁栄しました。
問5	答え 馬借	馬借（ばしゃく）は、馬の背に荷物を載せて運送を行う業者です。琵琶湖などの水運と組み合わせ、港から京都へ物資を運ぶ重要な役割を果たしました。当時の物流の主役の一つであり、運送を通じて経済的に大きな影響力を持つようになりました。
問6	答え 足利義政	義政は京都の東山に山荘として東山殿（のちの慈照寺、銀閣）を造営しました。その中の東求堂同仁斎という建物には、書院造の特徴である「床の間」や「違棚」が備わっており、後の日本建築に多大な影響を与えました。
問7	答え 一向一揆	一向一揆は、浄土真宗の門徒が団結して守護大名や他の宗派と戦った武装蜂起です。各地で発生し、時には地域全体の支配権を握るほどの強い勢力を誇りました。
問8	答え 合い札	勘合符とは、明の皇帝が発行した証明書で、半分に割った「合い札」という形式をとっていました。日本からの使節団が到着した際、明側が持つ半分と突き合わせ、一致すれば貿易が許可されました。これにより、幕府の許可を得た船であることが証明され、安全な交易が可能となりました。
問9	答え 会合衆	会合衆は、堺の有力者による合議組織です。彼らは町を運営するための相談役や意思決定者として活動し、堀をめぐらせるなどの防衛策を講じたり、町独自の法を運用したりしました。この組織により、堺は「日本で最も自由な都市」としての地位を確立しました。
問10	答え 下剋上	「下剋上」とは、下位の者が上位の者を実力で倒して支配権を奪う、戦国時代特有の世の中の秩序を指します。守護大名が家臣や国人に実権を奪われる事態が各地で相次ぎました。
問11	答え 中国	中国は当時、非常に進んだ産業や文化を持っており、日本を含む諸国から製品が求められました。琉球王国などは、この中国と日本、あるいは東南アジア諸国の間に立って仲介役を果たすことで、大きな経済的恩恵を受けました。この物流のつながりが、当時のアジアの経済圏を支えていました。
問12	答え 宋銭	宋から輸入された「宋銭」や、後の明から輸入された「明銭」が流通し、人々の生活に浸透しました。これにより、年貢も米だけでなく銭で納められることが増え、商品経済が飛躍的に活性化しました。
問13	答え 応仁の乱	約11年間にわたって京都の市街地が戦場となり、寺院や屋敷が焼き払われました。京都の街は壊滅的な被害を受けましたが、一方で幕府の権威は地に落ち、全国で下剋上の風潮が強まることとなりました。
問14	答え 七五調	二条河原の落書は、当時の世相に対する痛烈な批判を、当時の人々にとって馴染み深く覚えやすい「七五調」のリズムで表現しました。これにより、多くの人々に内容が伝わり、政治的な批判が庶民の間にまで浸透しました。
問15	答え 慈照寺銀閣	慈照寺銀閣は、北山文化の華やかな金閣とは対照的に、簡素で落ち着いた美しさが特徴です。この建物には、畳や床の間、障子などを備えた書院造という新しい部屋の様式が取り入れられました。
問16	答え 足利義政	足利義政は京都の東山に山荘（現在の慈照寺）を建て、そこを拠点に水墨画、茶の湯、華道などを愛好しました。この時期に醸成された文化は、簡素で気品のある「わび・さび」の精神を重んじる東山文化として完成されました。
問17	答え 足利義満	義満は、観阿弥・世阿弥の父子による猿楽（能）の才能を高く評価し、強力な後援者となりました。これにより、能は庶民の芸能から武家社会でも愛される芸術性の高い芸能へと進化しました。また、彼は金閣を建てるなど北山文化を築いたことでも知られています。
問18	答え 足利義満	明との貿易を望んだ義満は、明側からの「倭寇の取り締まり」という条件を受け入れ、勘合貿易を開始しました。これにより日本は多大な経済的利益を得ただけでなく、中国の文化や技術を取り入れるきっかけとなりました。
問19	答え 世阿弥	世阿弥は、父である観阿弥の才能を受け継ぎ、室町幕府の将軍足利義満に認められました。彼は能の理論を記した『風姿花伝』を著すとともに、多くの優れた脚本を書き上げ、能を大衆的な芸能から芸術性の高い舞台芸能へと完成させました。
問20	答え 管領	管領は、足利氏の一門である有力な守護大名（斯波氏、細川氏、畠山氏）が交替で務めた役職で、将軍を助けて幕府の政治や行政を統括しました。鎌倉府のような地方機関が力を強める中、中央の幕府を支える要としての役割を果たしました。
問21	答え 土一揆	土一揆は、主に農民たちが団結して、高利貸しである土倉や酒屋を襲撃し、借用書を破棄させるなどして借金の無効を訴えた運動です。